

アール・デコの煌めき

# ルネ・ラリック展

— 光と水と、硝子と花と —

2016

10.1 | 土 | ▶ 10.30 | 日 |

会場◎岡崎市日本多忠次邸

開館時間◎午前9時～午後5時（入館は午後4時30分まで）

休館日◎毎週月曜日（10月10日は開館）、10月11日（火）

入館料◎一般 300円／小中学生 150円

※岡崎市内在住・在学の小中学生、各種障がい者手帳をお持ちの方とその介助者は無料

主催◎岡崎市

企画協力◎ギャラリーオルフェ

生花・テーブルコーディネート監修◎料理研究家 岡本啓子

Photo/Yoko Tanaka

花瓶「パッカスの巫女達」1929年

岡崎市日本多忠次邸

OKAZAKI CITY FORMER RESIDENCE OF HONDA TADATSUGU  
〒444-0011 岡崎市欠町字足延40番地1（東公園内）Tel.0564-23-5015

# ルネ・ラリックの器に 花を活けるー

ルネ・ラリック(1860-1945)はフランスの美術工芸史の中でアール・ヌーヴォー、アール・デコ両時代にわたる類まれな巨匠として知られています。特に香水瓶から始まるラリックのガラス工芸はアール・デコを代表するものとして、褪せることのない煌めきを放っています。今回の展示では、香水瓶やカーマスコット、フラワーベースなどラリックのガラス作品を約30点紹介します。ラリックの活躍と時代を共にする洋館・旧本多忠次邸を背景に、器には水をたたえ、花を活け、当時の人々を魅了した本来の姿のままに皆様をお迎えします。光と水、ガラスと花が織りなす贅沢な時間をお過ごしください。



香水瓶「彼女の魂」1913年



立像「スザンヌ」1925年



花瓶「オラン」1927年



花瓶「オレンジ」1926年



カーマスコット「勝利の女神」1928年

## 関連イベント

各回とも ●参加無料(要当日入館券)  
●事前申込不要

※混雑した場合は参加を制限させていただく場合があります。

## ギャラリーツアー

講師/ギャラリーオルフェ オーナー 鈴木尚志  
内容/会場内を移動しながら展示作品をわかりやすく解説します。

日時/2016年10月1日(土) ●午前11時～ ●午後2時～

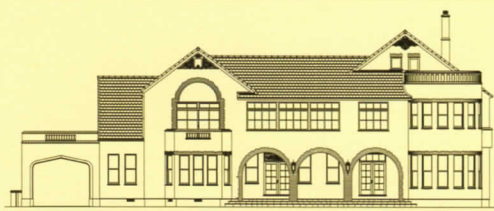
## ギャラリートーク

「アンティークを活かしたテーブルコーディネート」  
講師/料理研究家 岡本啓子  
内容/会場内にてラリックの食器を使ったテーブルコーディネートについてお話しします。

日時/2016年10月22日(土) ●午前11時～ ●午後2時～

## 岡本啓子プロフィール

料理研究家、フランス料理教室ラ・ココット主宰  
愛知県岡崎市出身  
名古屋市立大学薬学部(生薬教室)卒  
世界を旅する中で、伝統の大切さ、日本の文化の素晴らしさに目覚める。体にいい風土気候に合った料理、おもてなしのこころ、そこから生まれるテーブルコーディネートを追っている。  
著書に『ハーブと野菜がいっぱい 毎日のごちそう』(2000年 講談社)、『ロングセラーの42皿 日本の洋風お惣菜』(2004年 文化出版局)



## 岡崎市旧本多忠次邸

OKAZAKI CITY FORMER RESIDENCE OF HONDA TADATSUGU

〒444-0011 岡崎市欠町字足延40番地1(東公園内) Tel.0564-23-5015

徳川四天王のひとり本多忠勝(1548-1610)を始祖とする旧岡崎藩主本多家の子孫、本多忠次(1896-1999)が昭和7年(1932)、東京世田谷に自邸として建てた木造2階建の洋館です。平成24年(2012)に岡崎市に移築復原され、平成26年(2014)10月には国の登録有形文化財(建築物)に登録されました。

【開館時間】 午前9時から午後5時  
(入館は午後4時30分まで)  
【休館日】 月曜日(月曜日が休日の場合は翌日以降の最初の休日でない日)、1月1日～3日、12月29日～31日、展示替期間

## 【交通のご案内】

- お車の場合:東名高速道路「岡崎インター」から約5分。
- 公共交通機関:名鉄東岡崎駅の②番バスのりばから東公園口方面行きに乗り、「東公園口」下車、徒歩3分。

